

たかおか

市民と市政 4

No.186
2021年4月号

御旅屋通り

VR機能

かつての御旅屋が3Dで
よみがえる！

※3月27日(土)から利用可能

古地図機能

スタンプを集めて、
特別な御城印をゲット！

スマホから 江戸時代の御旅屋へGO!?

詳しくはこちら
(市HP)

御旅屋通商店街振興組合と高岡ケーブルネットワーク(株)が連携して、御旅屋通り商店街に整備した「ローカル5G」「Wi-Fi」による高速通信環境。それらを活用して楽しめるVR・古地図アプリ「ストリートミュージアム®」に、このたび「高岡御旅屋」が追加されました。

※Wi-Fi・ストリートミュージアム®は、お手持ちのスマートフォンなどで利用できます。

広報紙への
ご意見・ご感想を
お待ちしております！

投稿フォーム



今月の
特集は...

| 2P ~ | 令和3年度高岡市の予算 | 付録 | 新型コロナワクチン接種 など

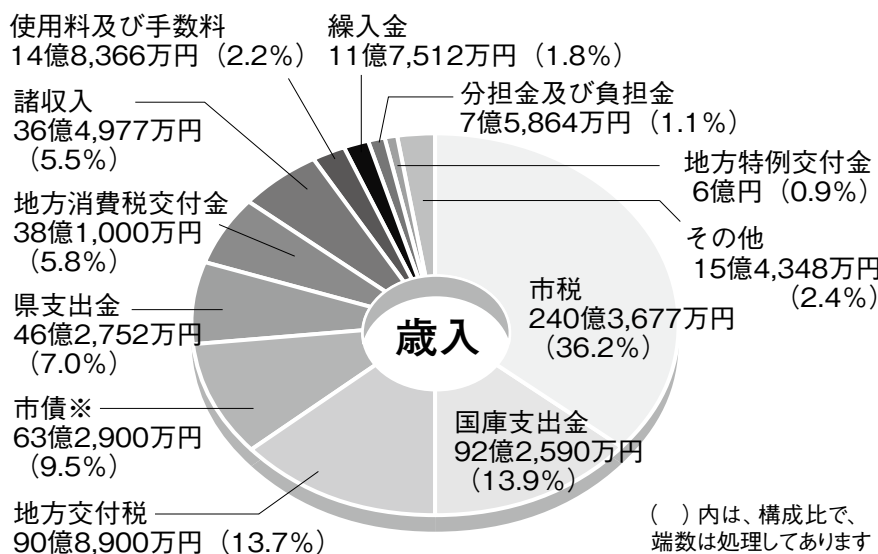
令和3年度 予算

予算の特徴

令和3年度は、総合計画第3次基本計画の最終年度として、これまで進めてきたまちづくりを総括し、その成果をベースとしながら次のステージに向けて踏み出します。

新しい変革の時代への道筋をつけるため、コロナ禍からの脱却、これまで培ってきた「都市の強み」と「まちの魅力」を生かす取り組みの強化、さらには市民や地域による「ひとの力」の結集に焦点をあて、現在策定中の第4次基本計画に掲げる「次世代から共感を得られるまちづくり」を進めていきます。

663億2,886万円



一般会計・特別会計の予算の内訳

会計名	令和3年度予算額	前年度からの増減	伸率
■一般会計※	663億2,886万円	2億9,341万円	0.4%
■特別会計※	651億3,756万円	10億1,608万円	1.6%
国民健康保険事業	152億3,679万円	9,798万円	0.6%
荻布奨学金事業	252万円	76万円	43.7%
駐車場事業	2億 952万円	▲8,064万円	▲27.8%
工業団地造成事業	1,401万円	▲1,309万円	▲48.3%
介護保険事業	194億7,882万円	7億 94万円	3.7%
後期高齢者医療事業	26億3,270万円	7,539万円	2.9%
高岡市民病院事業	104億7,623万円	▲1億3,217万円	▲1.2%
水道事業	50億8,188万円	▲7,706万円	▲1.5%
工業用水道事業	3,697万円	▲715万円	▲16.2%
下水道事業	119億6,812万円	4億5,112万円	3.9%
合 計	1,314億6,642万円	13億949万円	1.0%

次代を拓く^{ひら}変革予算

一般会計は663億2886万円で、前年度予算に比べ2億9341万円、0.4%の増です。特別会計は、国民健康保険事業会計など10会計で、予算総額は651億3756万円。前年度予算に比べ、10億1608万円、1.6%の増です。

問合先

財政課 ☎ 201246 FAX 201699

- ① 次代を拓く変革のための5つの取り組み
- ② 市民生活の根幹をなす安全・安心の確保
- ③ 経済の好循環の回復、まちの賑わい創出
- ④ まちの魅力の磨き上げ、魅力の活用・発信
- ⑤ 新しい潮流への対応
- 移住定住の促進、関係人口の拡大、教育環境・子育て環境の充実を図り、市民が主役の地域づくりを支援します。
- デジタルトランスフォーメーションを推進して、市民の利便性や行政サービスの向上につなげます。
- 消防費 28億1,138万円 (4.2%)
- 衛生費 48億5,223万円 (7.3%)
- 商工費 49億59万円 (7.4%)
- 教育費 54億6,517万円 (8.2%)
- 総務費 60億6,293万円 (9.1%)
- 土木費 70億6,675万円 (10.7%)
- 農林水産業費 9億883万円 (1.4%)
- その他 8億1,356万円 (1.2%)
- 民生費 240億6,043万円 (36.3%)
- 公債費※ 93億8,699万円 (14.2%)

一般会計の市債残高

- 令和3年度末の市債残高は**1,058億5,534万円(見込み)**で、令和2年度末市債残高(見込み)に比べ、**25億4,187万円の減**
- 令和3年度の市債発行予定額は**63億2,900万円**で、前年度に比べ**6億5,620万円の増**

※予算用語の説明

■一般会計と特別会計

一般会計は、市税などを主な財源として、市の基本的な経費を経理する会計です。特別会計は、国民健康保険事業など特定の事業を一般会計と切り離し、保険料などの独自の財源をもって独立して経理する会計です。

■市債

市の長期借入金のこと、学校や道路などの整備に使います。

■扶助費

国の法令などにに基づき、高齢者・障がい者・児童などの生活を援助するためのお金です。

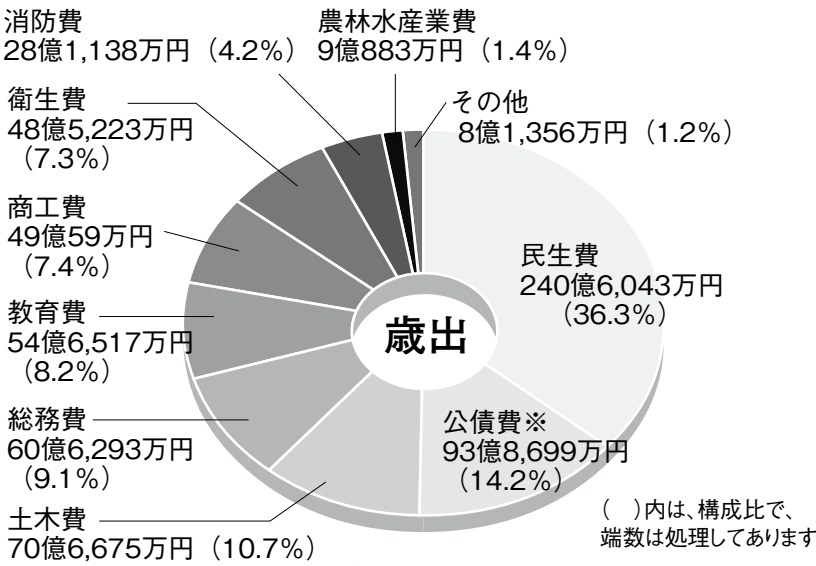
■公債費

市債の元利償還金と一時借入金利子に支出するお金です。

■普通建設事業費

学校や道路などを建設するために支出するお金です。

一般会計



事業紹介

こんな事業に取り組みます

令和3年度予算では、「財政健全化緊急プログラム」に基づく持続可能な行政運営を構築するため、次代を見据えた改革を進めます。費用対効果を高める事業については、「ポストコロナ時代の『未来につなぐ高岡新機軸』事業」として取り組みます。さらに、国の令和2年度3次補正などを受けて編成した令和2年度補正予算と合わせ「15カ月予算」とし、新型コロナウイルス感染症対策や安全・安心のまちづくりを力を入れて取り組みます。

ポストコロナ時代の「未来につなぐ高岡新機軸」事業

●元気たかおか推進事業 360万円
寄附型クラウドファンディングを活用して、市民のアイデアを実現し、市民が主役のまちづくりを応援する新たな支援制度を創設します。

●デジタル掲示板を活用した若者のまちづくりへの参画支援事業 1000万円
スマホで気軽にアクセスできるデジタル掲示板を活用し、若者がまちづくりに携わるきっかけづくりを行います。

●みんなの文化ステージ創造プロジェクト事業 1000万円
歴史文化資産を舞台に、市内アーティストのパフォーマンス動画を制作・オンライン発信する「どこでもステージ事業」を実施します。

●未来につなぐチャレンジ事業補助金 1500万円
ものづくり産業などの新分野・新事業展開、地域産業の魅力を生かした販路拡大・付加価値の向上、企業のデジタル化の取り組みなどを支援します。

ものづくり事業承継ハブ推進事業

200万円
事業承継の支援機関のネットワークを構築し、ものづくり技術を持つ人材を首都圏などから呼び込むためのシーズ調査を行うことで、事業承継を推進します。

コンビニ交付サービス事業

2250万円
窓口へ出向かない、非対面での証明書の取得を推進するため、コンビニ交付サービスの手数料を引き下げます。

あつかり総合サポート推進事業

277万円
市民の困りごとに寄り添った支援を行うための相談員を設置するほか、複合課題などへの対応と困窮者支援、関係機関と連携して一体的に行います。

学びのデジタル化推進事業

1704万円
児童生徒に1人1台導入した学習専用タブレットを最大限に活用するため、ICT支援を行い、教員の指導力向上を図ります。



ICT環境の整備

創意と工夫を生かした 税外収入の確保

●企業広告の募集

市が作成する印刷物などへの広告掲載、ネーミングライツなど。

●その他 自動販売機の設置、廃車となる消防車両の公売など。

民間活力などを生かした ゼロ予算（予算措置不要）事業

●広告を活用したサービス提供

本庁舎へのアルコール消毒液設置、子育て支援ガイドブック、人生いきいき（終活支援）ノートの配布など。

●民間企業と連携したICT事業

初心者のためのICT講座、公衆無線LAN（FREESPOT）の活用。

●これまでのノウハウを生かした業務

産業・観光施設でのガイド情報の多言語化推進、高岡情報発信プレスリリース、納税カレンダー作成など。



プレスリリース

ここからは、総合計画に掲げる5つの事業区分に沿って、重要な事業や新規事業を中心に紹介します（※は新規事業、☆はとやま呉西圏域連携中枢都市圏事業、◆は令和2年度補正事業）

1 地域産業

●中小・小規模企業向け融資事業

31億3991万円
中小企業者のライフステージに応じた各種融資制度のあつせんと預託、小規模事業者経営改善資金（マル融資）への利子補給などを行います。

●企業立地推進事業

517万円
新産業団地の候補地検討に向けた適地調査などを行います。

●新規就農・後継者確保促進事業

1668万円
新規就農者の支援や円滑な経営継承など、新たな担い手の確保・育成を促進します。

●生産性向上のための設備投資促進事業

2000万円
市が認定した、生産性を向上させる先端設備を導入する中小企業者を支援します。

2 歴史・文化

●勝興寺保存活用事業 1103万円

4月に平成の大修理が完了する勝興寺の魅力発信に向け、「GO FOR KOGEEI展覧会」や宝物展の開催などを支援します。

●重要伝統的建造物群保存地区整備事業 3016万円

新たに選定された吉久をはじめ、市内の重要伝統的建造物群保存地区内の建物などの修理・修景を支援します。



吉久の町並み

●赤レンガ建物利用調査事業 1820万円

耐震診断の結果などを踏まえ、赤レンガ建物の補強や利活用方針などを検討し、保存活用計画を策定します。

●万葉歴史館展示室魅力向上事業 2000万円

令和改元を機に、万葉集を楽しみながら学べる施設への転換をコンセプトに改修します。

●日本遺産魅力発信推進事業 150万円

高岡の「日本遺産」を発信し、地域の活性化を図る普及啓発事業などに取り組みます。

●新たな芸術・文化創造推進事業 839万円

児童が文化・芸術に触れる機会を提供するほか、クラフト市場街の開催などにより、高岡の誇る文化・芸術を発信し、新たな価値を創出します。



クラフト市場街

3 交流・観光

●団体旅行誘致促進事業 5000万円

●新高岡駅利用促進事業 2852万円

新高岡駅の利用促進に向け、新たな旅行商品の造成や、通勤・通学定期の購入などを支援します。

●個人旅行誘客強化事業 3044万円

北陸新幹線の敦賀開業を見据え、関西方面へのPR活動を強化します。また、マイクローツリズムの促進や地域の観光素材の磨き上げなどを行います。

☆新高岡駅利用促進観光バス事業 1370万円

北陸新幹線で来訪する観光客の利便性向上と、新高岡駅の交通拠点機能を強化するため、世界遺産バス・わくわくインナーの運行や高山便などの高速バスの乗車割引を支援します。

●官民連携による地域振興施設活用事業 1億円

とやま・ふくおか家族旅行村を民間事業者が無償貸与し、新たな魅力創出を図ります。

●飲食店向けキャッシュレス還元事業 7000万円

新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けた飲食店を応援するため、飲食店向けのキャッシュレスポイント還元キャンペーンを行います。

●賑わい集積開業等支援事業 1400万円

中心市街地や観光地周辺で新規に開業する事業者、店舗改装費などを支援します。

☆とやま呉西圏域ウェルカムサポート事業 501万円

とやま呉西圏域への移住・定住を推進するため、オンラインでの移住セミナーの開催や、6市共同での大型移住イベントへの出展などを行います。

●総合交通戦略推進事業 2億3373万円

JR城端線・氷見線のLRT化の検討・調査を行います。また、福岡駅のエレベーター設置に向け、バリアフリー基本構想の策定などを行います。

4 子育て・教育

●産後ヘルパー派遣事業 100万円

産後2カ月まで、家事サポートの利便性を支援します。

●保育サービス充実事業 3億9473万円

延長・病児保育などの保育サービスの充実を図ります。

●五位中学校区統合小学校整備事業 5億4981万円

建築・造成工事などを行います。

●高岡西部中学校区小中一貫校整備事業 6753万円

●高陵中学校区小中一貫校整備事業 5758万円

両小中一貫校整備に向け、地質・アスベスト調査などの事前調査や基本設計を行います。

●市立学校空調整備事業 7億7275万円

市立学校の特別教室と給食室のエアコンを整備します。

●石堤公民館整備事業 3500万円

旧石堤小学校の諸室を一部改修し、石堤公民館を移転します。

5 安全・安心

●ワクチン接種事業 11億6000万円

新型コロナウイルス感染症ワクチンの円滑な接種を行います。

●まるごとまちごとハザードマップ整備事業 100万円

電柱などに洪水時の浸水深の表示板を整備します。

●消防本部・高岡消防署庁舎改築事業 6962万円

測量調査やアスベスト調査などの事前調査、基本設計を行います。

●氷見市消防事務受託事業 4億3141万円

消防を広域化することで、市境周辺の災害現場への到着時間の短縮や、出動態勢の強化などを行います。

●道路メンテナンス事業 1億7760万円+

令和2年度3月補正3200万円、道路の安全性・信頼性の確保のため、橋りょうの計画的な修繕・更新・撤去を行います。

●雪害被害復旧事業 1億6000万円

大雪や除雪作業などで発生した、道路舗装や公園設備、学校屋根などの損傷個所の修繕や、車道の白線引きなどを行います。



大雪によるガードレール破損

●公共施設等整備改修基金積立金 10億円

将来の公共施設整備・改修に備え、市債発行額の抑制を図るための基金を設置します。

高岡市の行財政改革について

問合せ 財政課 ☎ 20-1246 FAX 20-1699、経営管理室 ☎ 20-1228

市では、第2次行財政改革アクションプラン（改定版）に基づき、効率的・効果的な行財政運営に取り組めます。また、社会情勢や生活様式の変化に対応し、次世代技術を活用した事務の効率化や行政サービスの質の向上を図ります。

併せて、財政健全化緊急プログラムや公共施設再編計画による取り組みを着実に実行し、行財政改革をより強力に推進します。



令和3年度
高岡市の
行財政改革
(PDF)

高岡市行財政改革アクションプラン

財 … 財政健全化緊急プログラムでも取り上げている項目です。詳しくは左頁をご覧ください。



事務事業の見直し

▶ 事務事業の整理・合理化 **財**

▶ **事務効率の向上** 自治体クラウドの導入・活用とともに、AI・ロボティクスなどの技術を活用し、事務作業の効率化を図ります。また、市民の利便性向上につながる電子申請の推進に取り組めます。

- ・ RPAの適用業務の拡大
- ・ 新規に導入したAI音声認識ソフトによる、会議などでの議事録作成
- ・ Web会議や外出先などから安全に庁内LANシステムに接続できる、リモートアクセスツールの積極的な活用

▶ **広域行政圏の連携強化** 氷見市との消防広域化により、効果的・効率的な消防体制を確立します。



健全財政の確保

▶ 健全な財政運営 **財**

▶ 市債の適正管理 **財**

▶ **市税の収納確保対策の強化** 納税環境を整備するため、スマートフォン決済アプリを活用して市税などが納付できるサービスを開始し、納税者の利便性向上を図ります。

▶ 地方公営企業の経営健全化

【市民病院】 急性期・高度医療の充実、安全・安心・納得の医療の提供、地域に根差した医療の提供と、安定した経営基盤の確立に努めます。

【上下水道局】 上下水道ビジョンに基づく「安全」「強靱」「持続」の各施策推進による、安定した上下水道サービスの提供と健全経営に努めます。



信頼される行政の構築

▶ **時代に対応した行政組織の構築** 地域住民の生活に密接する行政サービスを維持するため、福岡総合行政センターから福岡支所へ改組し、福岡地域や中山間地域の交流・振興を担うため、地域振興交流課を設置します。また、庁内の横断的な支援体制の強化を図るため、福祉部門に福祉連携推進室を設置します。

▶ 職員数の適正化 **財**

【令和3年度当初の正規職員数（見込み）】
1,756人（前年度比△6）



公有資産マネジメントの推進

▶ 公共施設の機能集約化と効率的運用 **財**

公共施設再編計画に基づく公共施設マネジメントの推進に取り組めます。

▶ **インフラの長寿命化** 道路、橋りょうなどのインフラを計画的に維持管理し、適切な更新を行います。また、道路パトロール業務のICT化や、路面の損傷状況を調査・解析するAIを用いたシステムを導入するなど、事務作業の効率化を図ります。



市民と共に歩む市政の推進

▶ **共創のまちづくりの実践** 市内全36地区を対象とし、地域活動を維持するため効率的な活動組織への再構築に取り組む地域を支援します。

▶ **情報の共有化** Web上で確認できる公開型地図情報システムの導入に向けた電子データを整備します。

高岡市財政健全化緊急プログラム

財政健全化緊急プログラム(平成30年2月策定)とは

期間 平成30年度～令和4年度(5カ年)

目標 収支均衡した財政構造

(令和5年度当初予算編成時までに、約40億円の構造的な歳出超過の解消を目指します。)

▶令和3年度当初予算では、約7億円の歳入歳出対策に取り組みます。また、収支均衡した財政構造となるよう、令和4年度以降も構造的な財源不足の解消を図ります。

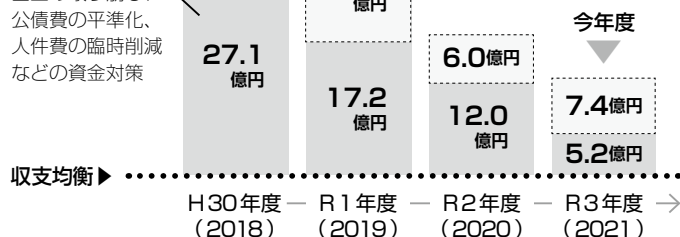
事務事業の見直しなどによる改善分

財源対策分

基金の取り崩し、公債費の平準化、人件費の臨時削減などの資金対策



財政健全化緊急プログラム



1 投資的経費の抑制

🎯 **目標額：公債費で△3億円**(令和4年度に効果を評価)

▶事業債の発行額を年間45億円以内(臨時財政対策債を含む市債発行総額は75億円以内)とし、公債費の大幅な抑制を図ります。

年度	H30(決算)	R1(決算)	R2(現計)	R3(予算)
事業債発行額	40.7億円	36.7億円	45.7億円	30.9億円
総額	69.9億円	60.8億円	70.1億円	63.3億円

2 公債費の平準化など

🎯 **目標額：△7億円**(令和4年度に効果を評価)

▶過去に借り入れた市債の一部を借換えし、公債費の平準化を図ります。また、繰上償還の実施により後年度の公債費の軽減を図ります。

■繰上償還の効果額(見込み)

年度	R1(決算)	R3(予算)
効果額	△0.9億円	△0.2億円

■借換えの実施状況

年度	H30(決算)	R1(決算)	R2(現計)	R3(予算)
財源対策分	15.1億円	13.5億円	8.3億円	2.2億円

3 公共(的)施設管理コストの縮減

🎯 **目標額：△6億円**

▶公共施設の再編を進めるとともに、管理コストや業務内容の見直しを行い、経費節減に取り組みます。

■効果額(見込み)

年度	H30(決算)	R1(決算)	R2(現計)	R3(予算)
効果額	△2.0億円	△2.9億円	△0.6億円	△0.9億円

■令和3年度に管理コスト縮減に取り組む主な施設

二上まなび交流館	廃止
とやま・ふくおか家族旅行村	民営化
道の駅万葉の里高岡、雨晴	指定管理料の削減

4 事務事業の見直し

🎯 **目標額：△15億円**

▶事務事業(委託料、補助金など)、繰出金、事務的経費などの見直しに取り組みます。

■効果額(見込み)

年度	H30(決算)	R1(決算)	R2(現計)	R3(予算)
効果額	△5.6億円	△4.0億円	△2.3億円	△2.9億円

■令和3年度に実施する主な見直し

事業名	内容・効果額
基幹系業務システム運用事業	自治体クラウド導入(R3.1～) 1億2,000万円
民間教育・保育施設等運営事業費補助金	段階的削減 1,140万円
新婚家庭のための住宅増改築等資金利子補給事業	H30年度からの新規受付停止に伴う減 950万円

5 総人件費の圧縮

🎯 **目標額：△5億円**

▶組織体制の見直しと職員の適正配置に取り組み、平成30年4月の職員数を基準に、令和5年4月までに70人超の減員を目指します。また職員給与などの臨時削減を行います。

■職員数(見込み)

	H30.4月	H31.4月	R2.4月	R3.4月(予算)
職員数	1,842人	1,788人	1,762人	1,756人
H30.4月との比較	-	△54人	△80人	△86人

■効果額(見込み)

年度	H30(決算)	R1(決算)	R2(現計)	R3(予算)
効果額	△2.3億円	△3.0億円	△1.1億円	△1.7億円

■臨時的な人件費削減額 R3年度見込額 △1.6億円

6 歳入の確保

🎯 **目標額：+4億円**

▶市税徴収率の向上、税収確保策の推進を図るとともに、受益者負担の原則の徹底と使用料の見直しに取り組みます。このほか、ふるさと納税、広告料収入などの歳入確保に取り組みます。

■効果額(見込み)

年度	H30(決算)	R1(決算)	R2(現計)	R3(予算)
効果額	1.2億円	2.4億円	2.0億円	1.7億円

令和3年度 上下水道事業予算

高岡市上下水道ビジョンに基づき、水道事業では、老朽管の更新や基幹施設の整備のため国吉配水場送配水管耐震化事業に着手し、災害に強い水道を目指します。また、水道料金の徴収などを民間委託し、官民連携の推進を図り、経営基盤の強化に努めます。

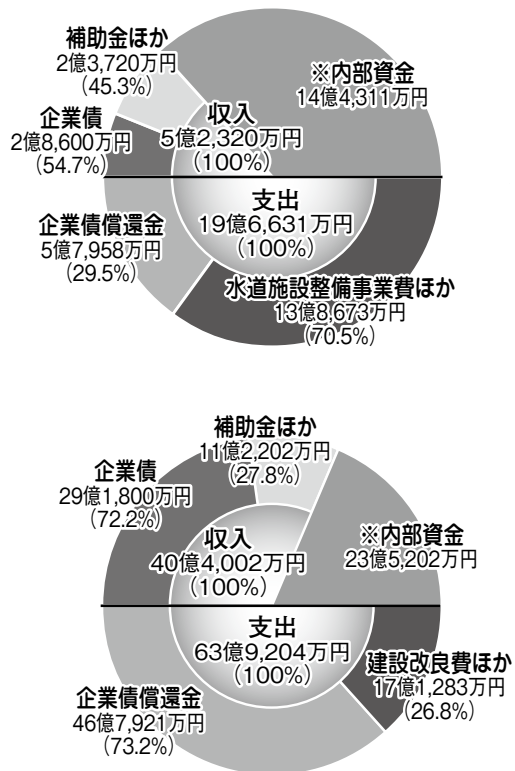
下水道事業では、公共下水道や雨水管の整備、ストックマネジメント計画に基づく^{かんきょ}管渠の更新・耐震化に取り組みます。

■問合先 上下水道局総務課 ☎ 20-1622 FAX 20-1624



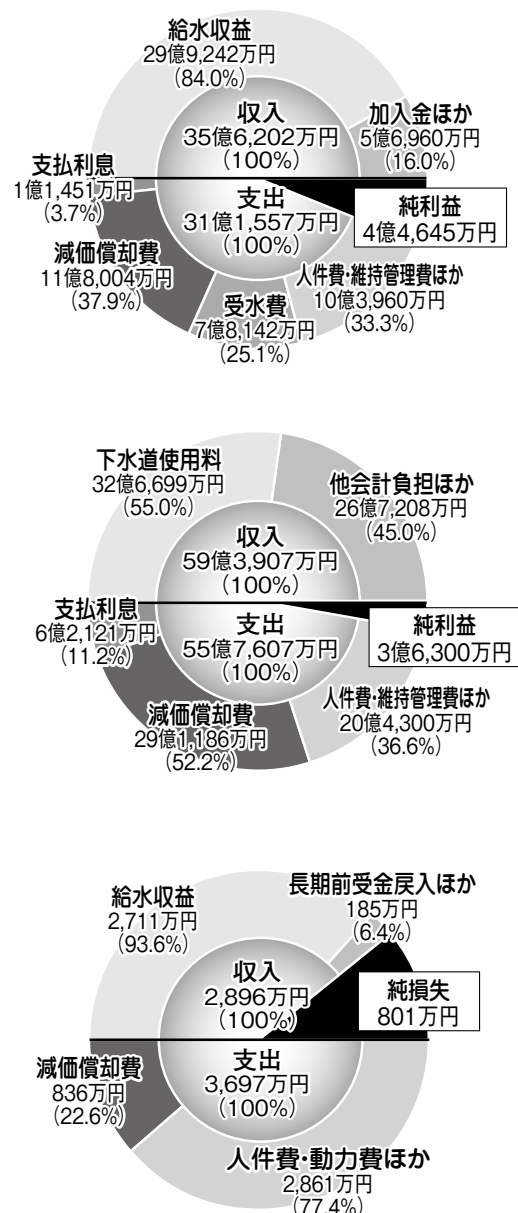
▲令和2年度、勝興寺をデザインしたマンホールを勝興寺周辺に設置しました。

資本的収支（施設の建設改良の収支）



令和3年度は建設改良事業を予定していません。

収益的収支（事業運営の収支）



※内部資金…収益的収支から内部留保資金（現金の支出を必要としない減価償却費など）を充てたもの

林野火災（山火事）を起こさないために

令和3年2月に栃木県、東京都、群馬県など全国各地で大規模な林野火災が発生し、住民が避難するほどの大きな火災となりました。春は空気が乾燥し、風が強くなるため、一度火が付くと瞬間に燃え広がってしまいます。火の取り扱いには十分注意しましょう。

問合せ 消防本部予防課 ☎ 22-3132 FAX 22-1994



高岡市では、令和元年に3件、令和2年に1件の林野火災が発生しました。出火原因は、たばこやごみの焼却など、人の不注意によるものです。林野火災を防ぐため、下記のポイントに注意しましょう。

林野火災の主な出火原因（令和元年の全国の火災統計）

	原因別	構成比
1	たき火	31.1 %
2	火入れ	18.8 %
3	たばこ	5.5 %
4	放火の疑い	5.2 %



注意のポイント

- ▶ 火気を使用する場合は、周囲の可燃物の状況に十分注意し、使用後は完全に消火する
- ▶ 喫煙は指定された場所で行い、吸いからは完全に消火してから吸いから入れに捨てる
- ▶ 子どもに火遊びはさせない
- ▶ 各自のごみは、指定された場所に捨てるか、持ち帰ることとし、焼却しない

ごみを屋外で燃やす行為（野焼き）は、法律で原則禁止されています。苦情の原因になるだけでなく、火災につながる恐れがあり、非常に危険です。

聴覚や言語に障がいなどがある人へ

4月1日(木)から

NET119 緊急通報システムが運用スタート



聴覚や言語に障がいなどがある人が119番通報するときに、ファクスやメールでは時間がかかることから、簡単に通報することができる「NET119緊急通報システム」を全国すべての消防本部で導入します。

問合せ 消防本部通信指令課 ☎ 22-3131 FAX 22-3498 📧 tsushin@city.takaoka.lg.jp

■ 利用できる人

市内に住むか、通勤・通学する人で、聴覚や言語に障がいなどがあり、音声による通報が困難な人
※インターネットやメールが利用できる、GPS機能付きのスマートフォン・携帯電話・タブレットが必要です。



■ 利用するには？

登録方法

消防本部通信指令課（〒933-0057 高岡市広小路5-10）へお越しください。

必要なもの

- 申請書*
- スマートフォン・携帯電話・タブレット

※申請書は市内の各消防署・出張所か社会福祉課の窓口、市ホームページで入手可



申請書
(4月1日公開)